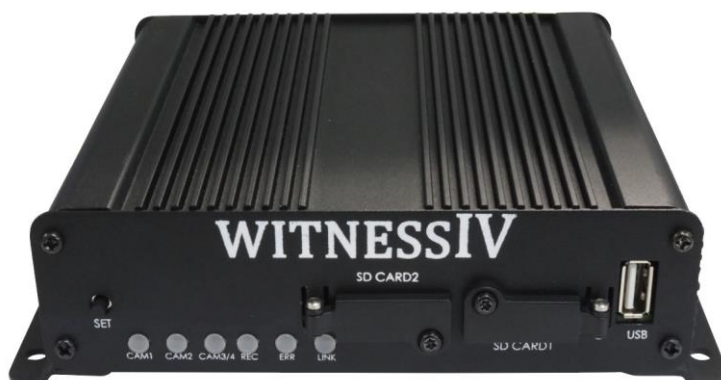


通信型 4カメラ・2スロット ドライブレコーダー

＜ウィットネス フォー＞

WITNESS^{IV}

ビューワソフト手順書



ソフトをインストールする

- ◆ 専用ビューソフトのパソコン動作環境条件 1
- ◆ 専用ビューソフトのインストール方法 1～2
- ◆ 起動方法 3
- ◆ 自動更新機能・自動更新表示ON/OFF 3～4
- ◆ ログインパスワード変更方法 5

SDカードを設定する

- ◆ SDカードの設定・保存方法 6～19
- ◆ ビープ音・音声ガイダンス 20

映像を再生する

- ◆ 専用ビューソフトの基本機能説明 21～30
- ◆ 映像データの再生 31～33

映像を保存する

- ◆ 映像データの保存方法一覧・保存先設定 34
- ◆ データ一覧・トリガー別一覧のデータ保存・データ変換 35
- ◆ データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）する場合 36
- ◆ 保存範囲の指定ファイルのデータ保存・データ変換 37
- ◆ 再生中 1 ファイルのデータ保存 37
- ◆ スナップ写真（静止画）の保存 38
- ◆ 全データ保存 38

SDカードをフォーマットする

- ◆ SDカードの専用フォーマット方法 39～40

映像を管理する

- ◆ 安全運転レポート 41～45

WITNESSIVで記録した映像は、専用ビューソフトで再生することができます。専用ビューソフトをスムーズにご利用いただけるよう、インストール前に必ずパソコンの動作環境をご確認ください。

* 機器、ビューソフト（映像再生ソフト）すべての著作権は、株式会社ドライブ・カメラに帰属します。

パソコンの動作環境

専用ビューソフト（映像再生ソフト）「WITNESSIV」稼働条件

OS推奨	Windows 8 / Windows 8.1 / Windows10 (32bit/64bit) IE10以上
CPU推奨	Intel Core i5-4460以上推奨
メモリー推奨	4GB以上推奨
ハードディスク推奨	1GB以上の空き容量（インストール時）
ディスプレイ	1280*768ピクセル以上表示可能なパソコン
その他	SDカードのリードライトができるインターフェイスを装備している。あるいは、USB 2.0以上のポートがあること（カードリーダーは本製品に付属していません。） Direct X 9.0以上が必要（Windows 8 以上であれば、DirectXは同時にインストールされます。）

※パソコンに独立したビデオカードが搭載されていない、あるいは、CPU: i5-4460以上でパフォーマンスが20%以上 + 150Mのメモリーでない場合は、専用ビューソフトをお使いになる前にパソコンを再起動してください。また、長時間お使いになる際も定期的にパソコンの再起動をお願いします。

※推奨環境すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

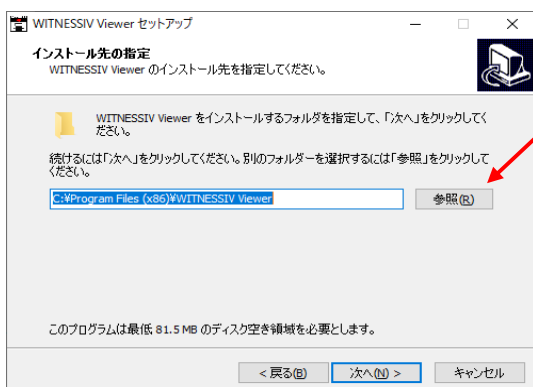
ご使用されるパソコン環境によっては正しく再生されない、正しく動作しない場合もあります。

※必ず、SDHC・SDXCが読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

インストール方法

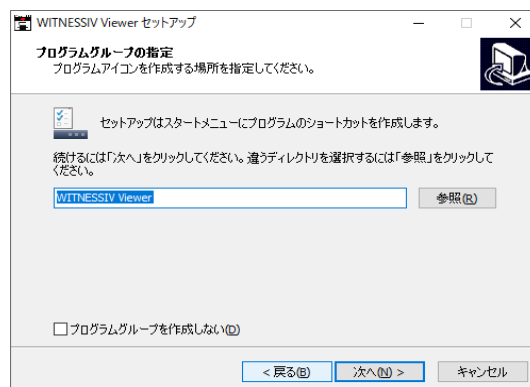
インストール版は、管理者権限でインストールをしてください。

- 1.同梱の「WITNESSIV Viewer」CD-ROMをご使用のパソコンにセットしてください。
- 2.「WITNESSIV Viewer」のインストーラをダブルクリックしてプログラムを起動させてください。
- 3.右の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 4.インストール先を指定した上で、[次へ]ボタンをクリックしてください。

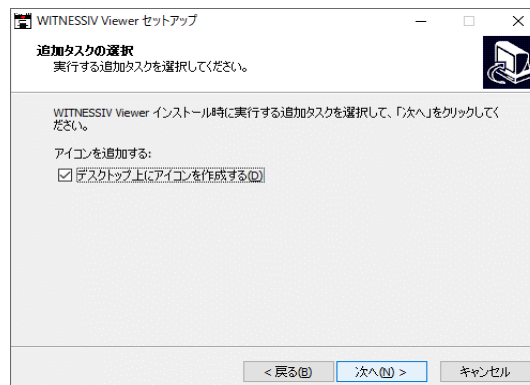


参照ボタンをクリックすると、任意のインストール先を指定することができます。（管理者以外の方がお使いの場合は、お使いになる方がアクセスできる場所を指定してください。）
指定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

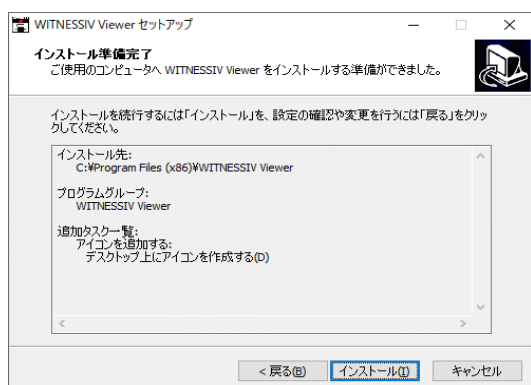
5. 右の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。



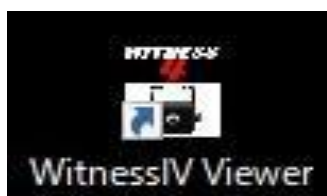
6. デスクトップ上に「WITNESSIV Viewer」のアイコンを作成する場合は、右の画面が表示されましたら、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。



7. 下記左の画面が表示されましたら、[インストール]ボタンをクリックしてください。自動的にインストールが始まります。
下記右の画面が表示されましたら、インストールが完了しました。
[完了]ボタンを選択してプログラムを終了させてください。



インストール方法の手順 6 で、「デスクトップ上にアイコンを作成する」に、☒チェックを入れた場合、専用ビューワソフトのアイコンが、パソコンのデスクトップ上に表示されます。



専用ビューソフトの起動方法

1. 「WITNESSIV」専用USBキーが、パソコンに接続されていることを確認してください。
2. インストールした「WITNESSIV Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 専用ビューソフト「WITNESSIV Viewer」が起動。ログイン認証画面が表示されます。
4. パスワードによるログイン認証、**6桁のパスワード**[半角数字のみ]を入力してください。

初期設定は「000000」に設定されています。

※専用ビューソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。

フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

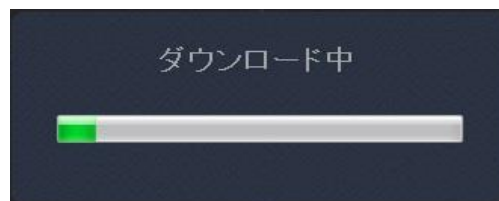


専用ビューソフトの自動更新機能

専用ビューソフトのバージョンが更新された際、自動更新のメッセージが表示されます。

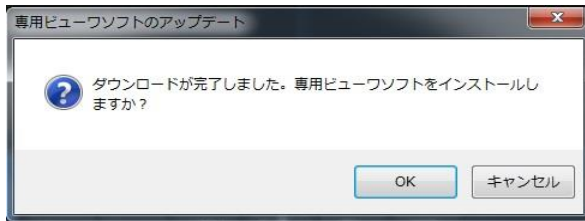
<新しいバージョンが更新されたときのみ、画面が表示されます。>

1. 専用ビューソフト起動・パスワードによるログイン認証後、
「WITNESSIV専用ビューソフトのバージョンが更新されています。ダウンロードしますか？」の画面が自動的に表示されます。
2. ダウンロードする場合、「はい」をクリックしてください。
新バージョンのダウンロードが始まります。

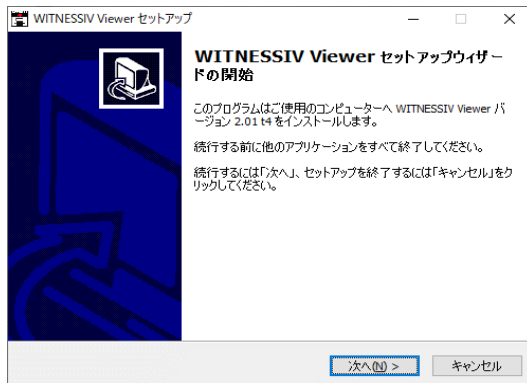


3. ダウンロード完了後、「ダウンロードが完了しました。
専用ビューソフトをインストールしますか？」の画面が表示されます。

4. インストールする場合、「OK」をクリックしてください。



5. 専用ビューソフトのインストール方法の手順 3 以降に沿って、インストールを行ってください。

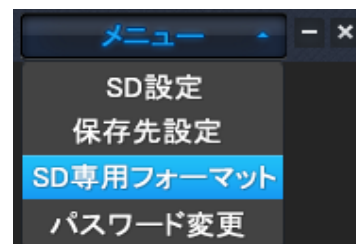


自動更新での専用ビューソフトのインストール時、SD設定の設定値保存（設定 A～設定 C）は、そのまま保持されます。

専用ビューソフトの自動更新表示ON/OFF

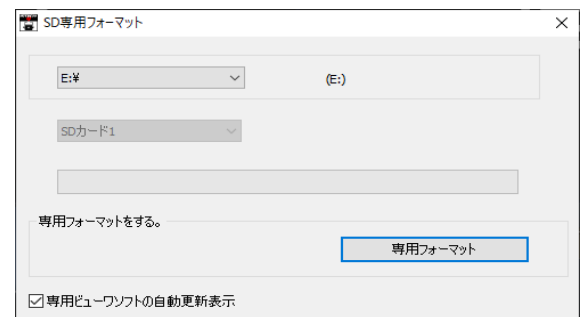
専用ビューソフトのバージョンが更新された際、自動更新の画面表示のON/OFFが設定できます。（デフォルト設定：ON ☒チェック有）

1. メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD専用フォーマット]をクリックしてください。



2. SD専用フォーマット画面が表示されます。
画面の「専用ビューソフトの自動更新表示」のチェックボックスでON/OFFが設定できます。

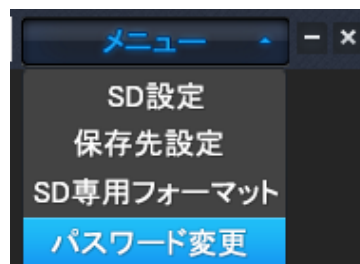
- ☒チェック有り→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面が表示されます。
- ☐チェック無し→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面は表示されません。



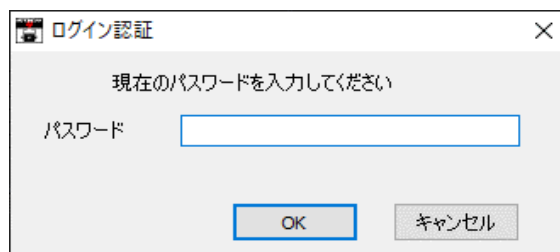
ログインパスワードは、専用ビューソフト起動時、SD設定時に必要となります。
初期設定は「000000」に設定されていますので、変更する場合、
下記の手順で、変更してください。

ログインパスワード変更方法

- 1.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[パスワード変更]をクリックしてください。



- 2.現在のパスワードを入力後、
[OK]ボタンをクリックしてください。



- 3.ログインパスワード変更画面が表示されます。
新パスワードを2回入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。
※パスワードは6桁。半角数字のみ入力可。



- 4.「ログインパスワードの変更が完了しました」の
画面が表示されましたら、変更完了となります。
[OK]ボタンをクリックし、画面を終了させてください。



出荷時は専用フォーマット済です。（SDカードの黒ラベルがSDカード1、黄緑ラベルがSDカード2）
WITNESSIV SDカード1・SDカード2のボリュームラベル（名称）は、WT4-SDと表示されます。
映像データを録画する前に、専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続し
SDカードの設定、保存を行ってください。

SD専用フォーマット後、SDカードの設定を行ってください。

	SDカードの設定	専用フォーマット
SDカード1	○必要	○必要
SDカード2	×不要	○必要

SDカードの設定手順

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[SD設定]をクリックしてください。
- 3.パスワードを入力し、ログイン認証後、SD設定画面が表示されます。
- 4.SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。



- 5.基本設定から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

基本設定→映像構成設定→音声ガイダンス、音の設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→モバイルアイ連携設定→[SDに保存]ボタン

- 6.「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードの設定値を確認する

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
- 3.パスワードを入力し、ログイン認証後、SD設定画面が表示されます。
- 4.SD設定画面の左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
- 5.各設定タグの設定値が切り替わり、SDカードの現在の設定値が表示されます。

設定値保存

※複数枚のSDカードを設定する場合、この方法が便利です。

SDカードに保存する各設定値を、専用ビューワソフトに最大3パターン（設定A～設定C）保存することができます。

ソフトに設定値保存する

1. 設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。



2. 基本設定から各設定タブをクリックし、設定を選択・入力後、[設定値保存]ボタンをクリックしてください。

基本設定→映像構成設定→音声ガイダンス、音の設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→モバイルアイ連携設定→[設定値保存]ボタン

3. 「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

SDカードに設定値保存する

専用ビューワソフトに設定値保存済みの設定A～CをSDカードに保存します。

例えば、設定BをSDカードに保存する場合

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3. パスワードを入力し、ログイン認証後、SD設定画面が表示されます。
4. SD設定画面の左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
5. 設定Bを選択します。
6. 各設定タブの設定値が切り替わり、専用ビューワソフトに設定値保存したデータが表示されます。
7. 設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードに設定値保存+追加保存する

専用ビューワソフトに設定値保存済みの設定A～設定C+車両情報のみを追加保存します。

例えば、設定BをSDカードに保存する場合

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
- 3.パスワードを入力し、ログイン認証後、SD設定画面が表示されます。
- 4.SD設定画面の左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
- 5.設定Bを選択します。
- 6.各設定タグの設定値が切り替わり、専用ビューワソフトに設定値保存したデータが表示されます。
- 7.[基本設定]の車両情報（車両・乗務員）を入力してください。
- 8.設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードの設定値を読み取り、設定値保存する

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
- 3.パスワードを入力し、ログイン認証後、SD設定画面が表示されます。
- 4.SD設定画面の左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
- 5.設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。
- 6.[SD読取]ボタンをクリックしてください。
(SDカードの設定値を読み取り、SDカードの設定値が表示されます。)
- 7.[設定値保存]ボタンをクリックしてください。
「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

基本設定から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

基本設定→映像構成設定→音声ガイドンス、音の設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→モバイルAI連携設定→[SDに保存]ボタン

基本設定

チャンネル設定

<カメラ使用台数の設定>

使用するカメラの台数を設定します。

■カメラ1台のみを使用する場合

→1を選択してください。

■カメラ2台を使用する場合

→2を選択してください。

■カメラ3台を使用する場合

→3を選択してください。

■カメラ4台を使用する場合

→4を選択してください。

※チャンネル設定が異なるSD設定の映像ファイルは混在できません。チャンネル設定を変更する場合は、必ず、専用ビューワソフトでSD専用フォーマット、SDカードの各種設定・保存を行ってください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存（バックアップ）してください。また、すべての設定値もリセットされますので、再度SD設定・保存を行ってください。

SDカード2の使用

SDカード2の使用

☒ 使用する ☐ 使用しない

<SDカード2の使用設定>

SDカード2（SDカード2スロット）使用の有無を設定します。

音声録音

音声録音

○オフ

●オン

<音声録音のオンオフ設定>

音声録音オン・音声録音オフを設定します。

車両情報

車両情報

☐ 車両

0/6

☐ 乗務員

0/8

<車両情報を入力>

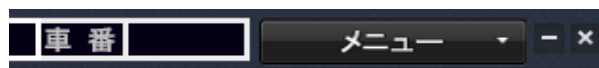
車両情報（車番・ナンバープレート）や乗務員情報を入力することができます。チェックボックスにチェックを入れ、入力を行ってください。録画した映像ファイルの車両・乗車している乗務員情報を判別することができます。

※車両情報は、最大6文字。乗務員情報は、最大8文字。

※半角英数字のみ入力可。（大文字小文字に注意。）

全角は不可。

入力した車両は、メイン画面右上の車番に表示されます。



パルス設定

パルス

☐ パルス自動設定☒ パルス手動設定

2

2

4

8

16

20

25

32

<パルス設定>

■ パルスを自動設定したい場合

パルス自動設定のチェックボックスに、チェック☑を入れてください。

■ パルスを手動設定したい場合

パルス手動設定のチェックボックスに、チェック☑後、パルスを選択してください。

■ パルスを自動取得したい場合

パルス手動設定を、チェック無し☐で設定・保存してください。Auto設定となります。

※パルス数値は、最初に速度が40kmを超えた場合、GPSから取得される速度とあわせて、適正なパルスに自動校正されます。

※取付時に車速／各種信号ケーブルに接続しただけでは、パルスを取得することができません。

※パルス数値は各自動車メーカーに、輸入車またはトラック・バスは各ディーラーにお問い合わせください。

※最新の車種の一部では、信号の発信方法などが違い、パルスが取得できないものもあります。

※車速信号がアナログパルスの車両は、パルスを取得することができません。

OSD表示位置

OSD表示位置

右上表示
 右上表示
 右下表示

<OSD表示位置の設定>

映像再生画面（画面1・画面2）上の、OSD表示（録画日時・速度表示）の位置（右上または右下）を設定します。

パスワード（管理者1・管理者2）

パスワード

管理者1

管理者名

パスワード

管理者2

管理者名

パスワード

<管理者パスワード設定>

管理者名+パスワードの設定（最大2人まで）が可能です。管理者名・パスワードを入力を行ってください。

※管理者名・パスワードは、最大15文字。

※半角英数字のみ入力可。（大文字小文字に注意。）

全角は不可。

※パスワードは忘れないように、きちんと保管してください。

SDカード内自体にセキュリティ（ロック）をかける機能で、管理者以外が映像再生できないように設定できます。

※管理者名・パスワード設定されたSDの映像データを確認する場合は、管理者名+パスワードの入力が必要となります。

※管理者・パスワードを変更したい場合、既存の設定を入力後、基本設定画面で新しい管理者名+パスワードを設定することができます。（上書き保存）

ACC OFFタイマー

ACCオフタイマー

00 時間： 00 分

<ACC OFFタイマー設定>

ACC OFF（電源OFF）後の起動時間を設定します。

エンジンを切っても、タイマー設定した時間、本体の起動が続き、録画を続けます。

左側が[時間]の設定（00～05）、

右側が[分]の設定（00～59）です。

最大5時間59分まで設定が可能です。

00:00の設定で、タイマーOFF相当となります。

00時間：00分設定時、ACC OFF（電源遮断）から約30秒後に完全シャットダウンされます。

※電源オフ後の録画時間機能は、車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。

車両バッテリー上がりにご注意ください。

※バッテリーが弱くなっている車両は注意が必要です。

※バッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。

※SDカードの専用フォーマットを行った際、すべての設定値（ACC OFFタイマー）もリセットされますので、再度SD設定・保存を行ってください。

※Wi-Fi通信時、Wi-Fi通信完了後（ACC OFF後約2～3分後）にシャットダウンされます。

- 通常90分未満の設定でご使用ください。90分以上の場合は、バッテリーあがりの危険性があります。
※ご使用されている環境・ご使用状況により、適用しない場合があります。

強制終了ボタンの操作方法

※この強制終了ボタンは、ACC OFF&ACC OFFタイマー設定時
(00:01/1分以上設定時)のみ作動します。

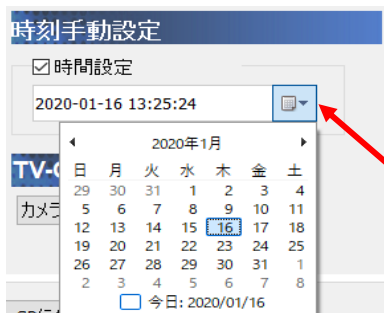
ACC OFF後、ACC OFFタイマー中の起動時、強制的にWITNESSIVの電源を切る場合に使用します。緊急時、SDカードを取り出したい場合にご使用ください。

【操作手順】

- 1.ACC OFF後のACC OFFタイマー中、SETボタンを長押ししてください。
ビープ音が鳴りましたら、SETボタンから指を放してください。
- 2.【ビープ音・音声ガイダンス設定ONの場合】
「ピンポン 録画を終了します。お疲れ様でした。」と流れます。
- 3.約2、3秒後、強制終了し、LEDがすべて消灯します。すべてのLED消灯確認後、SDカードを取り出してください。
※Wi-Fi通信時は、強制終了後、LINKランプのみ点灯します。通信はしていますが、録画は終了していますので、SDカードを取り出しても問題はありません。
通信完了後、LINKランプは消灯します。



時刻手動設定



<時刻手動設定>

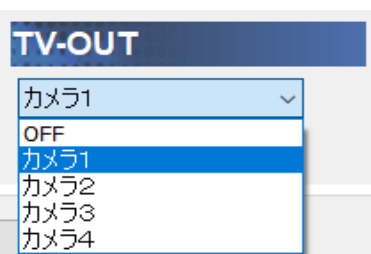
屋内などでGPS受信ができない環境の場合、SDカード設定時に、手動で時刻設定をしてください。

【設定手順】

- 1.時間設定に☑チェックを入れてください。
- 2.カレンダーマークをクリックし、プルダウン表示されるカレンダーで日付を選択してください。
- 3.カーソルを時間にあわせて、時間を入力してください。
- 4.[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
- 5.設定した時間の約20秒前に、SDカードを挿入し、本体を起動させてください。設定した日時が反映されます。

GPS受信ができる環境の場合は、ACC ON時にGPSが受信されましたら、日時は自動的に校正されます。

TV-OUT



<TV-OUT設定>

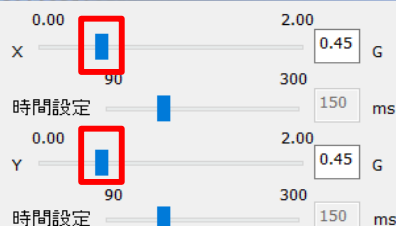
外部モニターなどを接続した場合、外部モニターなどに表示するWITNESSIV映像を設定します。

【設定項目】

OFF、カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4

Gセンサー感度設定

Gセンサー感度



※感度が高くなるほど、衝撃が検知されやすくなります。検知しすぎる場合は、Gセンサー感度を低く変更してください。

<Gセンサー感度（衝撃検知感度）設定>

本体のGセンサー感度を設定します。

【Gセンサー感度設定】「X軸、Y軸のGセンサー数値」と「時間」で計算されています。

【Gセンサー数値（X軸・Y軸）】

赤枠の操作バーでの手動調整か、右側の入力欄に数値を入力する2パターンで設定可能です。

設定単位・・・0.01G

（0.00G～2.00の範囲内で設定可）

※XとYを0.00Gに設定した場合、Gトリガーは反応しません。

【時間設定】

時間設定は操作バーで手動調整をしてください。

設定単位・・・30ms

（90ms～300msの範囲内で設定可）

速度トリガーに関する選択

速度トリガーに関する選択

☒ パルス速度

☐ GPS速度

<速度トリガー判定>

速度と関係するトリガーを、パルス速度か、GPS速度で判定するか設定します。

アイドリング時カメラ2映像カット

アイドリング時カメラ2映像カット

☒ カットしない

☐ カットする

（デフォルト設定：カットしない）

※カットするを設定した場合、アイドリングオーバーの警告・トリガーとして反応しません。

GPS速度（速度トリガーに関する選択）設定時は、この機能は使用できません。

<アイドリング時カメラ2映像カットの設定>

ドライバーの休憩時間などのアイドリング時、カメラ2映像の録画の有無を設定します。

※カメラ2とは本体からのケーブル・タグ2に接続したカメラのことです。



アイドリングオーバーを感知する設定時間（音声ガイダンス・音の設定のアイドリング設定）を超えると、カメラ2映像がカットされます。（録画されません。）この場合、他の接続しているカメラ映像は録画を続けます。

（音声録音オン設定時、音声も録音されます。）パルスを再取得すると、元の状態（カメラ2映像を録画する）に戻ります。

カメラ2映像を録画する→カットしないを選択
カメラ2映像を録画しない→カットするを選択

車種

車種

☒ 一般車両

☐ 大型車両

<車種設定>

車種が一般車両か、大型車両（10 t 以上）か設定します。

映像構成設定



カメラ1～カメラ4のビデオフォーマット・画質



<ビデオフォーマット・画質の設定>

カメラ1・カメラ2・カメラ3・カメラ4のビデオフォーマット（画像解像度）をFull-HD・HD・WVGA、映像の画質をA・B・Cから設定します。

※カメラ1・カメラ2・カメラ3・カメラ4のビデオフォーマット・画質は、それぞれのカメラごとに個別設定ができます。

カメラ 1 は、タグ 1 に接続したカメラ。
カメラ 2 は、タグ 2 に接続したカメラ。
カメラ 3 は、タグ 3 に接続したカメラ。
カメラ 4 は、タグ 4 に接続したカメラ。

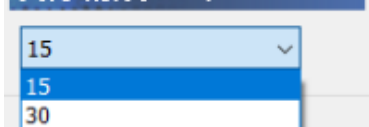


<パラメータ調整の設定>

録画時の映像の明るさを、それぞれのカメラごとに調整ができます。

SDカード1の映像構成レート

映像構成レート



<SDカード1の映像構成レートの設定>

毎秒間の映像構成レート（フレームレート）を、30fps・15fpsから設定します。

※SDカード1の映像構成レートは、カメラ1～カメラ4共通となります。

SDカード2への保存

SDカード2への保存

画質

- ☐ A
- ☒ B

<SDカード2への保存>

SDカード2の映像画質を、A・Bから設定します。

音声ガイドンス、音の設定



起動・終了時の設定

起動・終了時の設定

	ビープ音	音声ガイドンス
録画開始	☒	☒
GPS受信	☒	☒
録画終了	☒	☒
長時間運転	☐	☐

録画開始・終了時に流れるビープ音・音声ガイドンスの有無を設定します。
チェックボックスの□を外すと、ビープ音・音声ガイドンスは流れません。

ビープ音・音声ガイドンスは、選択式（有無設定可）となります。

項目	ビープ音	音声ガイドンス
録画開始時	ピンポーン	録画を開始します
GPS受信時	ピンポーン	GPSを受信しました (時計補正時1日1回流れます。)
録画終了時	ピンポーン	録画を終了します。お疲れ様でした
長時間運転時	ピンポーン	長時間運転です。安全な場所で 休憩してください(※1)

(※1) ACCからの連続起動時間1.5時間ごとに1回流れます。(走行時間ではありません。)

各トリガー設定

各トリガー設定

			ビーブ音	音声ガイダンス
Gセンサー			☒	☐
急発進・急加速	7	Km	☒	☐
急ブレーキ	8	Km	☒	☐
急ハンドル	0.5	G	☒	☐
速度超過(一般道路)	70	Km/h	☒	☐
速度超過(高速道路)	115	Km/h	☒	☒
アイドリング	20	分	☒	☐
バックトリガー(R1)	15	Km/h	☒	☒
バックトリガー(R2)	OFF	秒	☐	☐

各設定を超えたトリガー発生時に流れるビーブ音・音声ガイダンスの有無を設定します。

チェックボックスの☑を外すと、ビーブ音・音声ガイダンスは流れません。

ビーブ音・音声ガイダンスは、選択式（有無設定可）となります。

各設定を超えたトリガー発生時に流れるビーブ音・音声ガイダンスの有無を設定します。

チェックボックスの☑を外すと、ビーブ音・音声ガイダンスは流れません。

ビーブ音・音声ガイダンスは、選択式（有無設定可）となります。

[各設定値の説明]

- 急発進・急加速・・・設定単位1km（OFF・5km～15kmの範囲内で設定可）
0.6秒で速度加速が「設定値」kmを超えると、急発進・急加速になります。
 - 急ブレーキ・・・設定単位1km（OFF・5km～15kmの範囲内で設定可）
0.6秒で速度減速が「設定値」kmを超えると、急ブレーキになります。
 - 急ハンドル・・・設定単位0.1G（OFF・0.1G～2.0Gの範囲内で設定可）
ハンドル操作が「設定値」Gを超えると、急ハンドルになります。
 - 速度超過（一般道路）・・・設定単位5km/h（OFF・40km/h～80km/hの範囲内で設定可）
 - 速度超過（高速道路）・・・設定単位5km/h（OFF・60km/h～120km/hの範囲内で設定可）
車速「設定値」kmを超えた状態が10秒間以上継続すると、速度超過になります。
さらに、速度超過が継続された場合、180秒ごとに再度音声ガイダンスが流れます。
（音声ガイダンスは流れますが、トリガーとはしません。）
 - アイドリング・・・設定単位5分（OFF・5分～60分の範囲内で設定可）
アイドリング（車が止まっている状態）が「設定値」分を超えると、アイドリングオーバーになります。
- ※設定したACC OFF後の録画時間（ACC OFFタイマー設定）より、アイドリングの設定時間が短い場合、アイドリングオーバーの音声ガイダンスが流れます。
また、安全運転日報で、アイドリングオーバーの判定になりますのでご注意ください。
- ※GPS速度（速度トリガーに関する選択）設定時は、アイドリング設定はできません。
- バックトリガー(R1)・・・設定単位1km/h（OFF・1km/h～20km/hの範囲内で設定可）
バック信号が入っている状態が「設定値」km/hを超えると、バックトリガー(R1)になります。
 - バックトリガー(R2)・・・設定単位1秒（OFF・1秒～5秒の範囲内で設定可）
バック信号が入っている状態＆「設定値」秒以下で車両が動いた場合、バックトリガー(R2)になります。

**各トリガー設定をOFF設定にした場合、各トリガーは反応しません。
OFF設定時、ビーブ音・音声ガイダンスはチェック☑が入っていても流れません。**

項目	ビープ音	音声ガイダンス
Gセンサーによる衝撃を感知	ポーン	衝撃を感知しました
急発進・急加速時	ポーン	急発進です
急ブレーキ時	ポーン	急ブレーキです
急ハンドル時	ポーン	急ハンドルです
速度超過時 (一般道路・高速道路)	ポーン	スピードに注意してください
アイドリングオーバー時	ポーン	アイドリングが長すぎます
バックトリガー時	ポーン	後方に注意してください

ガイダンス音量設定

ガイダンス音量設定

小 大 50

<ガイダンス音量設定>

本体から流れる音声ガイダンスの音量を設定します。大に行くほど音量が大きくなり、小に行くほど音量が小さくなります。(最小0／最大100)
ガイダンス音量の数値が右に表示されます。(基本設定は50)

本体設置位置設定



本体設置位置の設定は、位置A～位置Fの中から設定してください。

WITNESSIV取付完了後、車両が水平な場所で、 必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、その状態を垂直として認識校正する機能です。

この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。

※本体設置位置に対して、40°以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。

Wi-Fi設定

<Wi-Fi設定／データ通信を行う場合のみ>

Wi-Fi設定を行う場合、☐Wi-Fi機能有効にするに☒チェックを入れ、SSID(1桁以上、最大32桁まで)・パスワード(8桁以上、最大16桁まで／半角英数字)を設定してください。

Wi-Fi設定を行わない場合、☐Wi-Fi機能有効にするのチェックを外し、Wi-Fi ON/OFFをOFF設定にしてください。

モバイルアイ連携設定



WITNESSIV本体がモバイルアイ（衝突防止補助システム）と連携している場合、この設定画面で「モバイルアイと連携あり」を選択してください。モバイルアイとの連携設定ができます。
[設定項目]

■ **車線逸脱警報**…左右の車線を、何秒以内に何回逸脱すると、トリガーがかかるかを設定します。

回数を3・5・7から、秒数を30・60・90から選択します。

（例）回数を3・秒数を30を選択した場合、左右の車線を、30秒以内に3回逸脱すると、トリガーがかかります。

	回数	秒数
車線逸脱警報	3	30

■ **車間距離警報**…連続で、何秒以内に、車間秒数が設定秒数以下になると、トリガーがかかるかを設定します。

車間秒数は設定単位0.1秒ずつ、0.1～0.9秒の範囲内で設定可能です。

秒数は設定単位1秒ずつ、1～10秒の範囲内で設定可能です。

（例）秒数を1・車間秒数を0.1を選択した場合、連続で1秒以内に、車間秒数が0.1秒以下になると、トリガーがかかります。

	車間秒数	秒数
車間距離警報	0.1	1

モバイルアイと連携しない場合、「モバイルアイと連携なし」を選択してください。

☒ モバイルアイと連携なし		
☐ モバイルアイと連携あり		
	回数	秒数
車線逸脱警報	3	30
	車間秒数	秒数
車間距離警報	0.1	1

ビープ音・音声ガイダンス

下記エラーのビープ音・音声ガイダンスは、起動時のエラー取得時に、必須（設定不可）で流れます。
 起動中、エラーが起きた（起こした）場合は、その際、1回ビープ音・音声ガイダンスが流れます。
 起動時に確認できないエラー「GPSエラー時」「本体異常時」は、起動後のエラー取得時に、
 1回のみビープ音・音声ガイダンスが流れます。

項目	ビープ音	音声ガイダンス
GPSエラー時	ピーピーピー	GPSがエラーです。
・SDカード未挿入時 ・「LOCK」がかかっている 状態のSDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード 1> SDカード 1 が入っていません。 <SDカード 2> SDカード 2 が入っていません。
・専用SDカードでない 市販品SD挿入時 ・専用フォーマットがされて いない専用SDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード 1> SDカード 1 が使えません。 <SDカード 2> SDカード 2 が使えません。
破損したSDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード 1> SDカード 1 がエラーです。 <SDカード 2> SDカード 2 がエラーです。
挿入するSDカードスロットが 間違っている場合 SDカード2をSDカード1スロット挿入 SDカード1をSDカード2スロット挿入	ピーピーピー	<SDカード 1> SDカード 1 が間違っています。 <SDカード 2> SDカード 2 が間違っています。
カメラ1エラー時	ピーピーピー	カメラ1がエラーです。
カメラ2エラー時	ピーピーピー	カメラ2がエラーです。
カメラ3エラー時	ピーピーピー	カメラ3がエラーです。
カメラ4エラー時	ピーピーピー	カメラ4がエラーです。
本体異常時 (Gセンサーエラー含む)	ピーピーピー	本体がエラーです。

専用ビューワソフトの起動方法

- 1.インストールした「WITNESSIV Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
 - 2.「WITNESSIV Viewer」が起動します。
- ※専用ビューワソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。
フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

基本機能説明



A	画面 1 映像再生画面
B	画面 2 映像再生画面
C	映像再生画面カメラ切り替えボタン
D	日時・車番表示
E	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・パスワード変更・ソフトのバージョン情報）
F	最小化ボタン・閉じるボタン
G	速度・パルス表示、タクシー実空車信号表示、ブレーキ・ウインカー信号表示画面
H	操作ボタン
I	機能ボタン
J	再生速度・音量調整バー
K	解析グラフ（Gセンサーグラフ・速度グラフ表示画面）
L	明るさ・コントラスト調整バー
M	データ一覧、地図（Google Map）、設定値情報
N	映像日時指定、全データ保存ボタン
O	信号・トリガー別映像データ抽出
	データ保存・データ変換ボタン

A	画面 1 映像再生画面
B	画面 2 映像再生画面

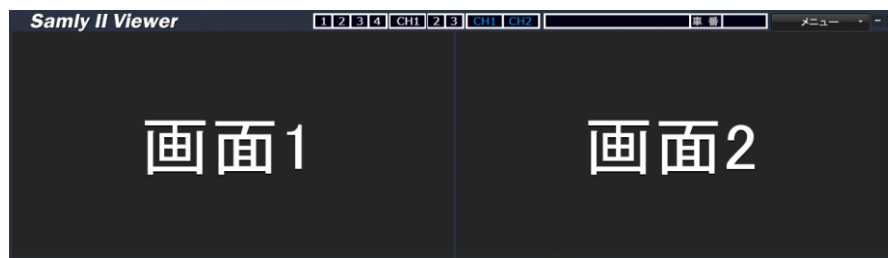
映像再生時、再生画面を表示します。

再生画面上にOSD表示（録画日時・速度）が表示されます。

※OSD表示は、SD設定[基本設定]OSD表示位置で、右上表示か右下表示にするか設定可能です。

※OSD表示の大きさは、ビデオフォーマット設定により異なります。

※赤外線機能付きカメラの映像は、赤外線発光時、モノクロ映像となります。



C 映像再生画面カメラ切り替えボタン

映像再生時に表示されるカメラ（チャンネル）を、メイン画面上部にある各ボタンをクリックすることで切り替えることができます。



カメラ 2 台の映像再生をしたい場合

下記のボタンをクリックすると、表示されるカメラ（チャンネル）が切り替わります。

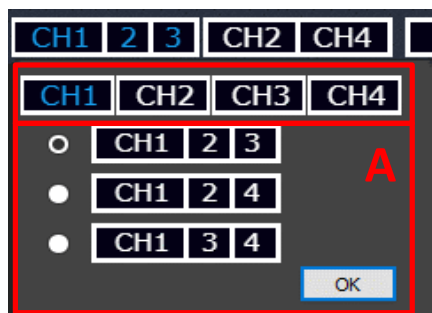


カメラ 3 台の映像再生をしたい場合

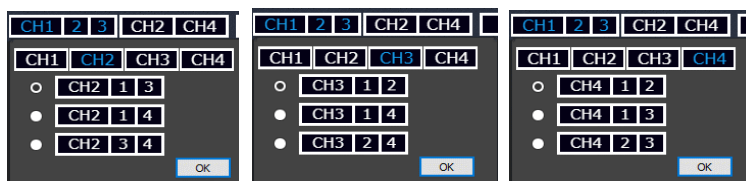
① 下記のボタンをクリックしてください。青文字に変わります。



② もう一度、クリックしてください。下記の選択画面が表示されます。



- ・画面1をCH1にしたい場合は、3つの中から選択後、[OK]ボタンをクリックしてください（A部分）
- ・画面1をCH1以外にしたい場合は、B部分のCH2～CH4をクリックしてください。それぞれの選択画面が表示されます。



カメラ 4 台の映像再生をしたい場合

右のボタンを左クリックしてください。

カメラ4台の映像を同時に再生できます。



D	日時・車番表示
----------	---------

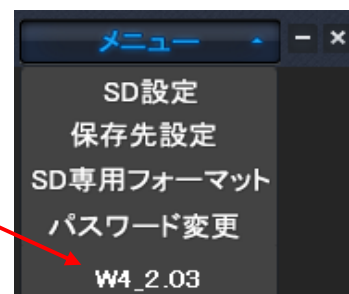
録画日時と車番（車両番号）を表示します。

※車番は、SD設定[基本設定]車両情報・車両で設定時のみ、表示されます。

E	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・パスワード変更・バージョン情報）
----------	---

メニュー内のプルダウン項目から、SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・パスワード変更ができます。

専用ビューワソフトのバージョン情報が表示されます。



F	最小化ボタン・閉じるボタン
----------	---------------

	<最小化ボタン> 専用ビューワソフトの画面サイズを最小化し、パソコン画面のタスクバーに移動させます。
	<閉じるボタン> 専用ビューワソフトを終了します。

G 速度・パルス表示、タクシー実空車信号表示、ブレーキ・ウインカー信号表示画面

GPSの状態から、速度・パルス表示、ブレーキ・ウインカー情報を、タクシーメーター信号から、実車・空車情報を表示します。

＜速度・パルス表示＞

映像再生時、GPSが取得できている場合、実際の走行速度とパルスを表示します。

SDカードの設定により、パルス車速とGPS車速どちらかの表示がされます。

※本製品は、GPSによって速度（スピード）を算出しております。

低速走行やGPSの受信状況によって、速度（スピード）に誤差が生じたり、速度（スピード）算出が状況によっては正常に表示できない場合があります。また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる場合があります。



＜タクシー実車・空車情報を表示＞

タクシーの実車・空車情報を表示します。

※実車のみ表示されます。

※車種およびメーターの種類により、実車／空車信号が異なる場合がございます。

実車信号左の矢印マークをワンクリックすることで切替可能です。



＜ブレーキ・ウインカー信号表示＞

実際に使われているブレーキ・ウインカーを模擬表示します。

（例） ※メーカーおよび車種により、ブレーキ信号が異なる場合がございます。

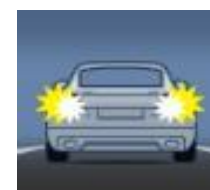
ブレーキ

ハザード

左ウインカー

バック信号

バック信号 + ハザード



車両のイラストは、乗用車・トラック・バスを表示します。

車両のイラストをダブルクリックすることで、切り替えが可能です。



※車種およびメーターの種類により、ブレーキ信号のプラス信号とマイナス信号が異なる場合がございます。車両のイラスト左の矢印マークをワンクリックすることで切替可能です。



H 操作ボタン

映像の再生状態をコントロールする操作ボタンです。



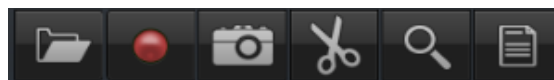
	前のファイルを再生		コマ戻し
	コマ送り		次のファイルを再生
	再生		一時停止
	停止		

※コマ戻しは1秒単位、コマ送りは1コマ単位となります。

(30fps設定…30コマ、15fps設定…15コマ、10fps設定…10コマ)

I 機能ボタン

映像の再生・保存時に使用する機能ボタンです。



	<映像を開く> SDカードあるいは保存先から再生したい映像データを選択する。
	<再生映像保存> 再生中の1 ファイルを保存する。
	<スナップ写真> 映像データのスナップ写真（静止画）を保存する。
	<保存範囲の指定> 指定した範囲の映像データを保存する。
	<映像部分拡大> 映像データの部分拡大（ズーム）機能。
	<レポート作成> 安全運転レポートを作成する。

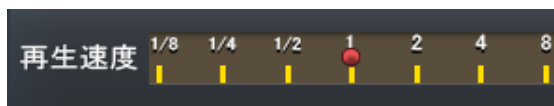
J 再生速度・音量調整バー

<再生速度調整バー>

映像の再生速度を調整します。

バーを右に移動すると再生速度が速くなり、
左に移動すると再生速度が遅くなります。

[1]が通常速度となります。



<音量調整バー>

映像の音声音量を調整します。

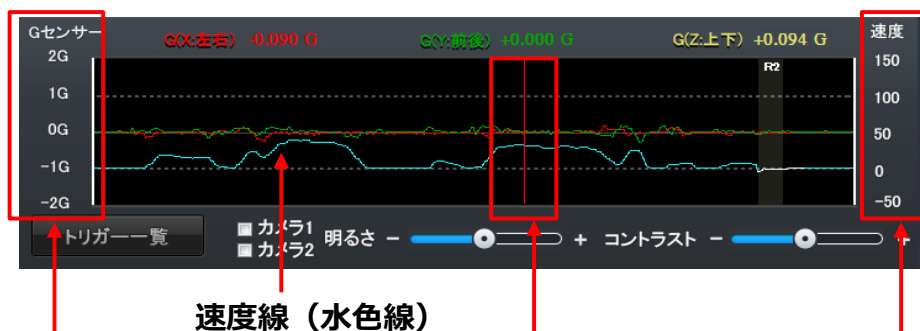
バーを右に移動すると音声音量が大きくなり、
左に移動すると音声音量が小さくなります。



K 解析グラフ（Gセンサーグラフ・速度グラフ画面）

走行中に、車両運行情報（Gセンサー）が取得できます。

GセンサーのX方向・Y方向の数値、速度（スピード）を折れ線グラフで表示します。



Gセンサー数値

Gセンサーを数値・波形(X・Y)で表示します。

X-G値(左右): 赤、Y-G値(前後): 緑、Z-G値(上下): 黄緑

(1) X: 走行中、車両の水平状況

(2) Y: 走行中、車両の前後状況

(3) Z: 走行中、車両の上下状況 ※Z軸は数値のみ表示。

※X軸・Y軸・Z軸の左右・前後・上下は、本体の取り付け位置と方向により変わります。

再生バー（赤色線）

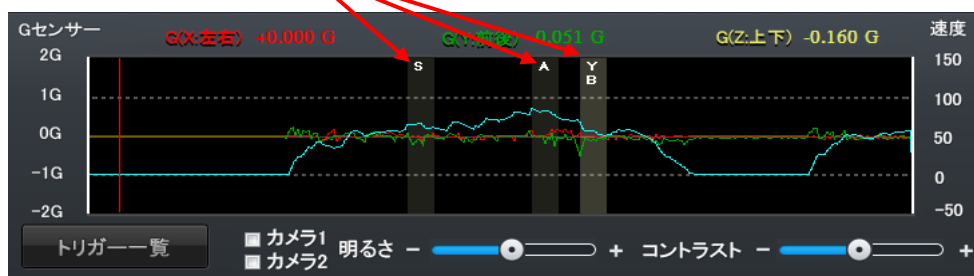
速度（スピード）

再生バーで、現在どのあたりまで再生しているかを表示します。

バック信号時、速度表示・速度線・
バック信号は、すべて白線・白文字で
表示されます。

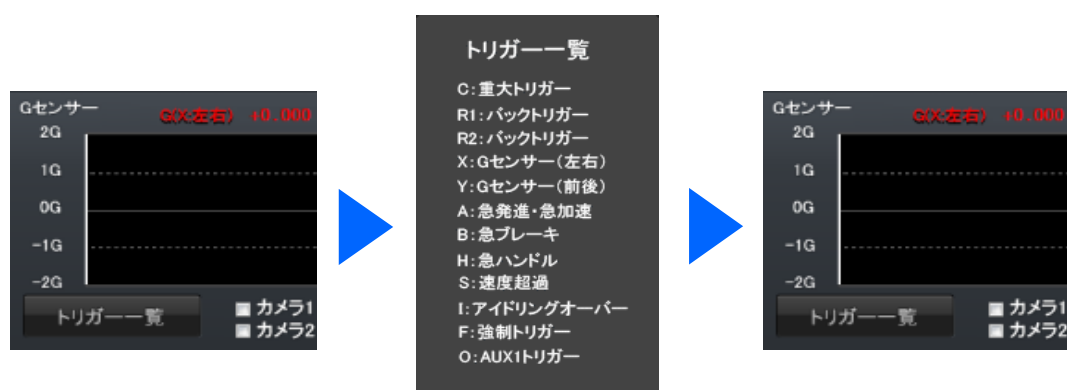


各トリガーが発生した部分（各設定を超えた場合）は、薄いベースとアルファベットの略称が表示されます。



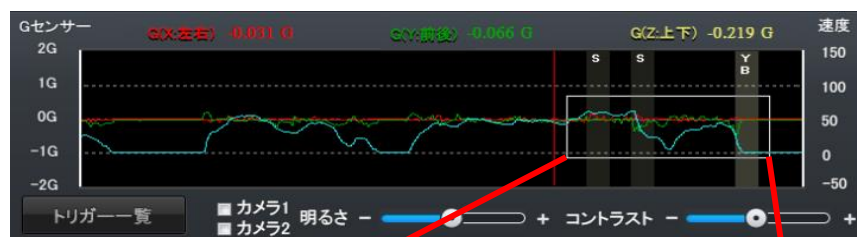
＜各トリガーのアルファベットの略称を確認する場合＞

1. 左下の[トリガー一覧]ボタンをクリックする。
2. トリガー一覧が表示されます。（このトリガー一覧は、左クリックで自由自在に移動可能です。）
3. 再度、[トリガー一覧]ボタンをクリックすると、表示が消えます。

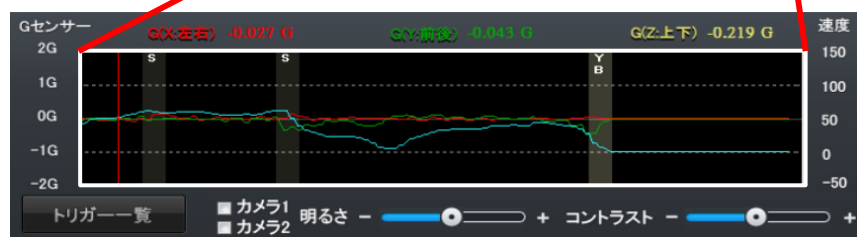


＜解析グラフの部分拡大（伸ばし）機能＞

1. 右クリックで部分拡大させたい部分（範囲）を選択。



2. 解析グラフ横幅まで部分拡大されます。



3. 右クリックで、元の解析グラフに戻ります。

L 明るさ・コントラスト調整バー

画面 1・画面 2 に☑チェックを入れることで、映像の明るさ・コントラストが調整可能です。



<明るさ調整バー>

映像の明るさを調整します。

バーを+に移動すると映像が明るくなり、-に移動すると映像が暗くなります。

<コントラスト調整バー>

映像のコントラスト（明暗比）を調整します。

バーを+に移動するとコントラストが強くなり、画面にメリハリがつきます。

-に移動すると、コントラストが弱くなります。

M データ一覧、地図（Google Map）、設定値情報

タグでデータ一覧、地図（Google Map）、設定値情報の切り替えをします。

<データ一覧表示>

録画された映像データ（データ一覧）を、録画時間順に表示します。
再生したい映像データをダブルクリックすると、映像ファイルの再生ができます。

ID	録画開始時間		全て
☐ 15	2018-04-17 06:44:46		Y A B S
☐ 16	2018-04-17 06:50:12		S
☐ 17	2018-04-17 06:55:18		Y B S
☐ 18	2018-04-17 07:00:44		S
☐ 19	2018-04-17 07:05:50		
☐ 20	2018-04-17 07:11:15		S
☐ 21	2018-04-17 07:16:21		B
☐ 22	2018-04-17 07:21:47		S
☐ 23	2018-04-17 07:26:53		

<地図（Google Map）表示>

録画中にGPSが取得できていた場合、走行位置と走行軌跡をGoogle mapで表示します。

※パソコンがインターネット未接続の場合は表示されません。

※パルスから速度（スピード）が取得できない場合、GPSによって取得の速度を表示します。

※本製品は、GPSによって速度（スピード）を算出しております。低速走行やGPSの受信状況によって、速度（スピード）に誤差が生じたり、速度（スピード）算出が状況によっては正常に表示できない場合があります。

また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる場合があります。



※Google mapは参考イメージとなります。

Google Map走行経路の表示
GPS受信環境にある場合は、
Google Map(インターネットに接続されている
場合)に走行中の位置・走行軌跡が表示
できます。
再生時、日時・Gセンサー波形・速度と地図
(GPS受信時のみ)などを表示します。

GPS未受信の映像データは、
下のイラストが表示されます。



インターネットに接続されていない場合、
下のイラストが表示されます。



＜設定値情報＞

映像データの設定値が確認できます。

WITNESSIVのFWバージョン情報、
接続したSDカードが、SDカード 1 か
SDカード 2 も表示します。

データ一覧	地図	設定値情報	データ保存
設定		設定値	
FW情報		S2024	
カードタイプ		SDカード1	
SDカード2の使用		Y	
ビデオフォーマット		WVGA;WVGA;WVGA;WVGA;QWVGA	
画質		C;C;C;C;B	
映像構成レート		15;15;15;15;10	
音声録音		オン	
チャンネル設定		4	
ACCオフタイマー		00:00	
車種		一般車両	
取得車速		VSP	
Gセンサー		X: 0.45 G / 150 ms Y: 0.45 G / 150 ms	
Gトリガーのビープ音設定		ビープ音:オン 音声:オン	
TV-OUT		OFF	
位置		位置A/スロット正面(横)	
急発進・急加速		8 km / ビープ音:オン 音声:オン	
急ブレーキ		9 km / ビープ音:オン 音声:オン	
急ハンドル		0.5 G / ビープ音:オン 音声:オン	
速度超過(一般道路)		70 km/h / ビープ音:オン 音声:オン	
速度超過(高速道路)		100 km/h / ビープ音:オン 音声:オン	
アイドリング		30 分 / ビープ音:オン 音声:オン	
バックトリガー(R1)		10 km/h / ビープ音:オン 音声:オン	
バックトリガー(R2)		5 秒 / ビープ音:オン 音声:オン	
OSD表示位置		右上表示	
アイドリング時カメラ映像カット		カットしない	
音量		50	

N

映像日時指定、全データ保存ボタン、信号・トリガー別映像データ抽出

＜映像日時指定＞

映像日時指定で、再生したい映像データの
時間帯を簡易抽出することができます。

1. データー一覧表示後、
映像日時指定に☑を入れると、
映像日時の指定画面が表示されます。
2. 日付をカレンダーから選択、
開始時間・終了時間を選択してください。
3. [抽出開始]ボタンを押してください。
4. データー一覧に抽出した映像日時のみの
映像データが表示されます。

例えば…10/2 13:00～16:50を抽出
したい場合、カレンダーから10/2、
開始時間13、終了時間17を選択します。



<全データ保存ボタン>

SDカード内の全ての映像データと同じものを保存する機能です。

※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。

※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。

※パソコンのスペック（空き容量）によって、保存するまで時間がかかります。

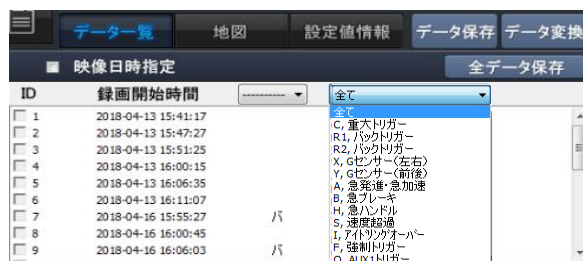
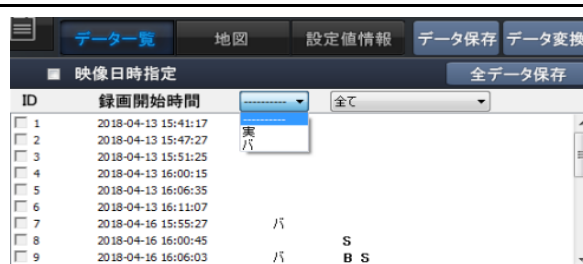
※パソコンの使用環境によって、HDDの空き容量や他のソフトを実施中にてフリーズしたり、保存に失敗する場合があります。



<信号・トリガー別映像データ抽出>

バック信号・実車信号ごと、各トリガーごとの映像データの抽出、再生することができます。

録画されたデータ一覧（5分ファイル）から、各トリガーごとの映像ファイル（衝撃発生前20秒、発生後10秒、合計30秒）を抽出（絞り込み）します。



※バックトリガー映像データについては、バック信号が2秒以上継続した場合のみ表示されます。

※全てとは、録画した全映像のことです。（トリガー有無関係無し）

※重大トリガー：Gセンサー感度の設定値以上に、大きな衝撃と感知した映像を判別し、重大トリガーとして分類します。重大映像確認の時間短縮に特化しています。

O

データ保存・データ変換ボタン

<データ保存・データ変換ボタン>

映像データのデータ保存・データ変換をすることができます。



録画した映像データは、専用ビューワソフトで、再生して見るができます。

(カメラ4 台の映像を同時再生可)

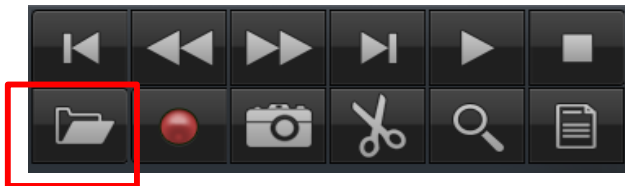
※映像再生時、カメラそれぞれの映像にズレが生じる場合があります。(映像にズレが生じる場合がありますが、映像データには問題ありません。)

※WITNESSIVで取得されたデータは、すべてセキュリティがかかっているため、パソコンに専用USBキーが挿入されていないと、映像データを再生することができません。

SDカードを同一本体で使用しない場合、映像データをパソコンに保存後、専用フォーマットを行ってからご使用ください。

映像再生手順

- 録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
(専用SDカード以外の場合は、手順 2 からご覧ください。)
- 専用ビューワソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。



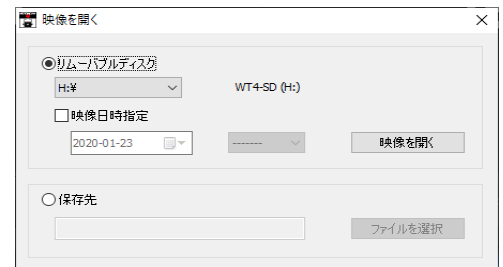
- 再生したい映像データの保存先フォルダを選択してください。

専用SDカード内の映像を再生する場合

リムーバブルディスクの選択は不要です。

読込先に、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。

WT4-SDと表示されているかご確認ください。

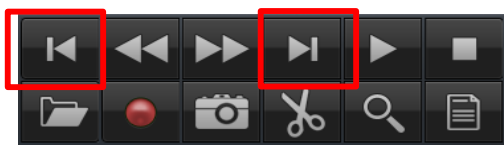


保存先から映像を再生する場合

保存先からファイル選択（映像データを選択）後、
[開く] ボタンをクリックしてください。

- 専用SDカード内の映像データを、最初から映像日時指定して抽出することが可能です。
接続したSDカードの自動読み込み後、映像日時指定に☑を入れてください。
日時を指定後、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
※指定した日時の前30分、後30分の合計1時間の映像（※1）が抽出されます。
※1 映像ファイル名の開始時間が、合計1時間以内に含まれる映像。

- データ一覧が自動的に表示されます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、再生が始まります。



[前のファイル][次のファイル]ボタンのクリックで
前のファイル、次のファイルを再生することが
できます。

ID	録画開始時間		全て
1	2018-04-19 11:07:34		
2	2018-04-19 11:09:33		
3	2018-04-19 11:14:12	実バ	C Y B
4	2018-04-19 11:19:50	実バ	C Y A B
5	2018-04-19 13:37:47	実	
6	2018-04-19 13:41:30		
7	2018-04-19 13:48:59	実	
8	2018-04-19 14:25:42	バ	
9	2018-04-19 16:26:24	実バ	

再生中の映像データは、水色のバーで表示されます。

映像の全体拡大

画面 1・画面 2 映像再生画面が、それぞれ全体拡大できます。

全体拡大（サブ画面無）	全体拡大（サブ画面有）
映像再生画面（画面 1 または画面 2）を 左ダブルクリック ↓ 映像再生画面より大きく全体拡大 ↓ さらに左ダブルクリック ↓ パソコン画面まで全体拡大 ↓ ※パソコン画面までの全体拡大時、 ↓ パソコンのスペースキーを押すことで、 ↓ 映像の一時停止・再生が可能です。 さらに左ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る	映像再生画面（画面 1 または画面 2）を 右ダブルクリック ↓ 映像再生画面より大きく全体拡大 ↓ さらに右ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る ※画面 1 を全体拡大した場合、画面 2 の 映像が右上にサブ画面として表示。 ※画面 2 を全体拡大した場合、画面 1 の 映像が右上にサブ画面として表示。 ※サブ画面にカメラ 2 台の映像は表示されません。

SDカード2（QWVGA）映像の全体拡大

※カメラ 2 台の映像再生時のみ、全体拡大が可能です。

（CH1・CH2、CH1・CH3、CH1・CH4、CH2・CH3、CH2・CH4、CH3・CH4）

映像再生画面（画面 1 または画面 2）を左ダブルクリック



映像再生画面まで全体拡大



さらに左ダブルクリック



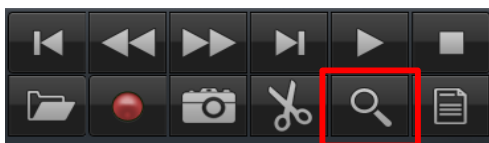
通常のQWVGA映像再生画面に戻る

※SDカード2（QWVGA）映像の全体拡大は、映像再生画面までとなります。

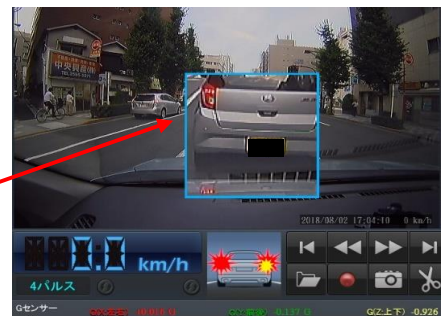
映像の部分拡大

映像再生時、一時停止中に、映像を部分拡大（ズーム）して見ることができます。

1. 映像再生時、[一時停止]ボタンをクリックしてください。
2. [部分拡大]ボタンをクリックして、画面 1 または、画面 2
映像再生画面にカーソルを移動させてください。



3. 水色の枠があらわれ、部分拡大（ズーム）されます。
4. [再生]ボタンをクリックすると、
元の映像再生画面に戻ります。



※画像は一部加工しています。

バック信号・実車信号、トリガー別映像データの再生

データ一覧から、プルダウン項目で抽出すると、
バック信号のみ、実車信号のみ、トリガー別の映像データの一覧が表示されます。

プルダウンから、各トリガーを抽出すると、各トリガー別のデータ一覧に絞り込めます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、再生が始まります。

ID	録画開始時間		全て
☐ 8	2018-04-16 16:00:45		S
☐ 9	2018-04-16 16:06:03	バ	B S
☐ 10	2018-04-16 16:11:20		
☐ 11	2018-04-16 16:16:38		
☐ 12	2018-04-17 06:28:48	バ	Y B
☐ 13	2018-04-17 06:34:14		
☐ 14	2018-04-17 06:39:40		
☐ 15	2018-04-17 06:44:46		Y A B S

Y : Gセンサー（前後）を
抽出。

ID	録画開始時間		全て
☐ 8	2018-04-16 16:00:45		全て
☐ 9	2018-04-16 16:06:03	バ	C, 重大トリガー
☐ 10	2018-04-16 16:11:20		R1, バックトリガー
☐ 11	2018-04-16 16:16:38		R2, バックトリガー
☐ 12	2018-04-17 06:28:48	バ	X, Gセンサー(左右)
☐ 13	2018-04-17 06:34:14		Y, Gセンサー(前後)
☐ 14	2018-04-17 06:39:40		A, 急発進・急加速
☐ 15	2018-04-17 06:44:46		B, 急ブレーキ
☐ 16	2018-04-17 06:50:12		H, 急ハンドル
			S, 速度超過
			I, アイドリングオーバー
			F, 強制トリガー
			O, AUX1トリガー

Y : Gセンサー（前後）のみの
映像データが抽出されます。

ID	録画開始時間		Y, Gセンサー(前後)
☐ 1	2018-04-17 06:31:19		Y
☐ 2	2018-04-17 06:31:20		Y
☐ 3	2018-04-17 06:47:40		Y
☐ 4	2018-04-17 06:59:53		Y

各トリガー別の映像データ（30秒ファイル）で抽出・映像確認後、
5分ファイルに戻りたい（5分ファイルを表示したい）場合に、[全て]ボタン機能がオススメです。

ID	録画開始時間		Y, Gセンサー(前後)
☐ 1	2018-04-19 11:17:49		全て
☐ 2	2018-04-19 11:20:09	実	C, 重大トリガー
☐ 3	2018-04-19 11:20:10	実	R1, バックトリガー
☒ 4	2018-04-19 23:28:53	実	R2, バックトリガー
☐ 5	2018-04-20 00:04:18		X, Gセンサー(左右)
☐ 6	2018-04-20 20:31:59		Y, Gセンサー(前後)
☐ 7	2018-04-21 04:10:47		A, 急発進・急加速
			B, 急ブレーキ
			H, 急ハンドル
			S, 速度超過
			I, アイドリングオーバー
			F, 強制トリガー
			O, AUX1トリガー

■トリガー別一覧（30秒ファイル）
で☒チェック有→
プルダウンで[全て]を選択

ID	録画開始時間		全て
☒ 74	2018-04-19 23:27:53	実	Y A
☐ 75	2018-04-19 23:33:31		
☐ 76	2018-04-19 23:38:40		
☐ 77	2018-04-19 23:43:49	バ	
☐ 78	2018-04-19 23:49:27	バ	
☐ 79	2018-04-19 23:54:08		
☐ 80	2018-04-19 23:59:17		I
☐ 81	2018-04-20 00:04:55		
☐ 82	2018-04-20 00:10:04		

☒チェック有のトリガー別映像
ファイルが含まれる5分ファイルが、
データ一覧の1番上に表示されます。
※スクロールで前後の
5分ファイルの確認もできます。

■トリガー別一覧（30秒ファイル）で☐チェック無→プルダウンで[全て]を選択した場合、
データ一覧（5分ファイル）が、1ファイル目から表示されます。

	データ保存 (RAW形式)	データ変換 (AVI形式)
データー一覧 (1ファイル5分)	○ 保存手順 1	○ 保存手順 2
トリガー別一覧 (1ファイル30秒)	○ 保存手順 1	○ 保存手順 2
保存範囲の 指定ファイル	○ 保存手順 3	○ 保存手順 3
再生中の1ファイル (1ファイル5分)	○ 保存手順 4	×
スナップ写真	静止画（ビットマップ画像）として保存します。 保存手順 5	
全データ保存	SDカード内全ての映像データと同じものを データ保存します。 保存手順 6	



※データ変換時、カメラそれぞれに音声・OSD表示が入ります。

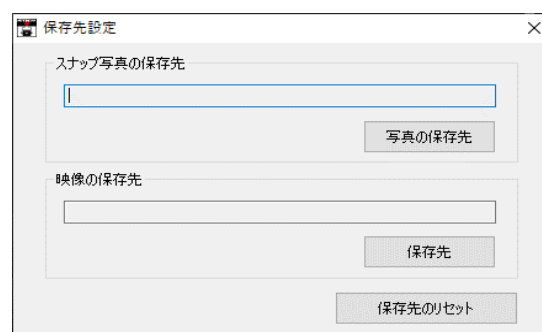
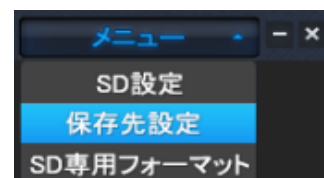
※再生中の1ファイルは、データ保存のみ可能。

複数ファイルの保存・トリガー別ファイル・保存範囲の指定ファイルでの使用不可。

保存先設定

事前に指定した保存先に、常に自動保存する場合

1. 専用ビューソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]
プルダウン項目から、[保存先設定]をクリックしてください。
2. 画面のスナップ写真の保存先「写真の保存先」ボタン、
または、映像の保存先[保存先]ボタンをクリックし、
保存先を設定してください。
3. 右の画面で保存先を指定した場合、映像データの
保存時、2で指定した保存先に自動的に保存
されます。
※保存先指定画面は表示されません。
※保存先を指定していても、再生中の1ファイル
(保存手順4)、全データ保存(保存手順6)は、
保存先指定画面が必ず表示されます。



毎回、保存先を指定して、保存する場合

右上の保存先設定画面が、すべてblank（空白）であることをご確認ください。

映像データの保存時、毎回、保存先指定画面が表示されます。その都度、保存先を指定してください。

[保存先のリセット]のクリックで、保存先を初期化します。

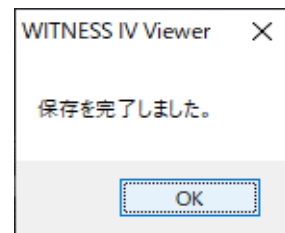
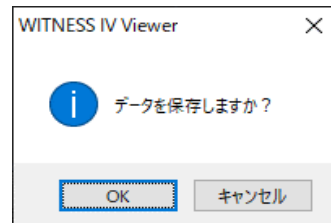
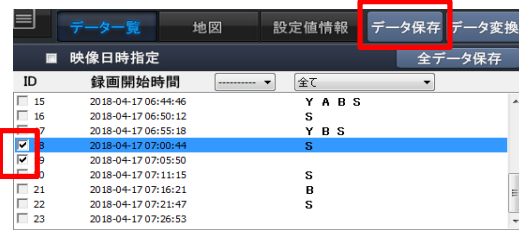
保存手順1

データー一覧・トリガー別一覧のデータ保存

データー一覧・トリガー別一覧をデータ保存（RAW形式 ※専用ビューワソフトのみで再生可能なデータ）します。

- 1.保存したい映像データの左側のチェックボックスにチェックを入れてください。
※チェックボックスは、ワンクリックで☑が入り、ダブルクリックで、チェックが外れます。
- 2.[データ保存]ボタンをクリック後、「データを保存しますか？」の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。
- 3.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
- 4.保存が開始されます。
- 5.[保存を完了しました]と表示されましたら保存完了です。

※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より長く保存される場合があります。



保存手順2

データー一覧・トリガー別一覧のデータ変換

データー一覧・トリガー別一覧をデータ変換（AVI形式 ※パソコンの環境があれば、専用ビューワソフトがなくても再生可能なデータ）します。

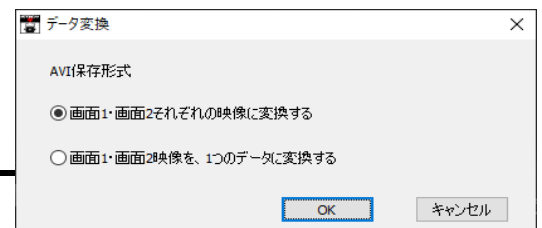
- 1.保存したい映像データの左側のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 2.保存先指定画面が表示されます。保存先を指定してください。
- 3.[データ変換]ボタンをクリック後、右の画面が表示されます。
AVI保存形式を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

- 画面1・画面2それぞれの映像に変換する
- 画面1・画面2映像を、1つのデータに変換する ※1 ※2

※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存されるAVIファイルが複数ファイルに分けられます。

※2 カメラごとに異なるビデオフォーマット（画像解像度）を設定した場合、映像の大きさが異なります。

- 4.変換が開始されます。
- 5.[保存を完了しました]と表示されましたら変換完了です。



データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）する場合

データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）する場合、映像再生画面に表示されている映像によって、変換（保存）されるデータが異なります。

◆ カメラ2台まで、またはカメラ4台の映像再生

データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）を選択



映像再生画面に表示されている映像のみが変換されます。

※CH1・CH2表示の場合、CH1・CH2のみデータ変換（AVI形式）されます。

**◆ カメラ3台以上の映像再生**

（画面1・画面2を2分割／カメラ2台分）表示



データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）を選択



接続しているカメラすべての映像が変換されます。

※CH1・CH2表示の場合、CH1・CH2のみデータ変換（AVI形式）されます。



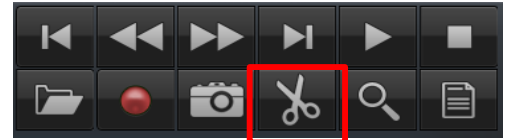
※データ変換（画面1・画面2映像を、1つのデータに変換）の場合は、映像再生画面に表示されている映像がそのまま変換されます。

保存手順 3

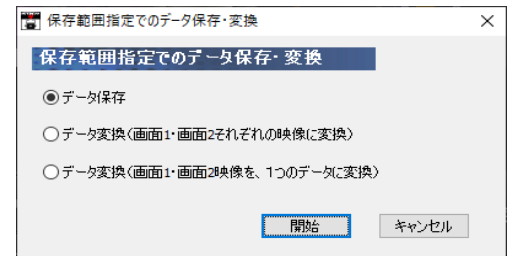
保存範囲の指定ファイルのデータ保存・データ変換

映像データの再生中に、保存したい映像部分（任意の保存範囲）のみを切り取り保存することができます。

- 1.映像を再生しながら、保存を開始したいところで、
[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
- 2.解析グラフ内に、白色の点線が表示されます。



- 3.そのまま再生し、保存を終了したいところで、
再度[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
- 4.保存先指定画面が表示されます。保存先を指定してください。
- 5.保存形式の選択画面が表示されます。
保存形式を選択し、[開始]ボタンをクリックしてください。



- ☐ データ保存
- ☐ データ変換（画面1・画面2それぞれの映像に変換）
- ☐ データ変換（画面1・画面2映像を、1つのデータに変換）※1 ※2

※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存されるAVIファイルが複数ファイルに分けられます。

※2 カメラごとに異なるビデオフォーマット（画像解像度）を設定した場合、
映像の大きさが異なります。

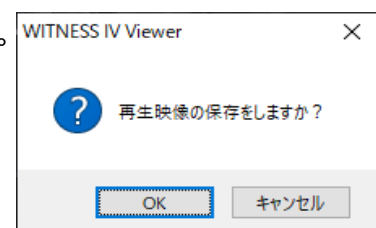
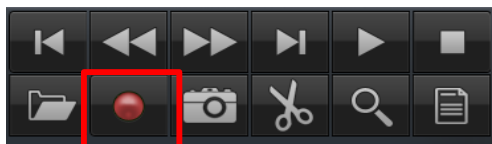
- 6.保存・変換が開始されます。
 - 7.[保存を完了しました]と表示されましたら、保存・変換完了です。
- ※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より長く保存される場合があります。

保存手順 4

再生中の1ファイル（1ファイル5分）のデータ保存

映像ファイルの再生中、その1ファイルのみをデータ保存することができます。

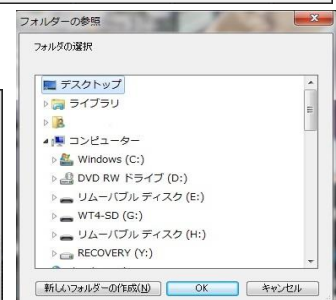
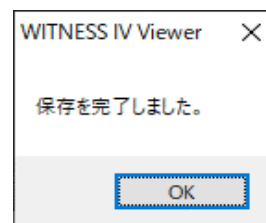
- 1.映像再生中に、[再生映像保存]ボタンをクリックしてください。



- 2.「再生映像の保存をしますか？」の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。

- 3.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。

- 4.保存が開始されます。
- 5.[保存を完了しました]と
表示されましたら保存完了です。

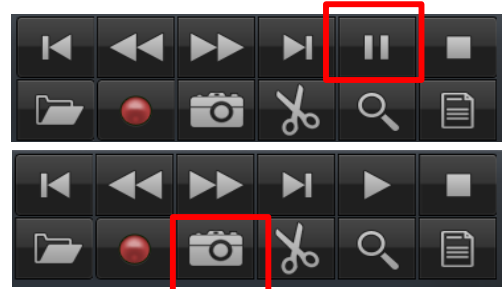


保存手順 5

スナップ写真（静止画）の保存

映像ファイルの再生中、保存したい瞬間の映像画面を、スナップ写真（静止画）として保存することができます。

- 1.映像再生中に、保存したい画面で
[一時停止]ボタンをクリックしてください。
- 2.[スナップ写真]ボタンをクリックしてください。
- 3.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。



映像再生画面に表示されている映像と、AP画面全体のスナップ写真が保存されます。

（例）カメラ4台を接続しているが、**CH1 2 3** でスナップ写真（静止画）として保存した場合、

カメラ1・カメラ2・カメラ3それぞれと、AP画面全体のスナップ写真の合計4枚が保存されます。

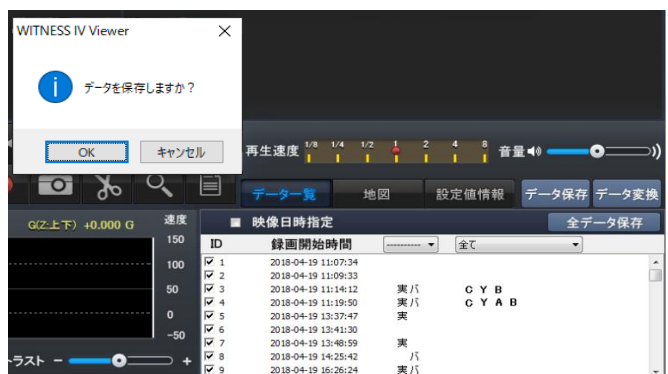
※カメラ1台のみの取付時、保存されるスナップ写真はAP画面全体、画面1映像再生画面の2枚となります。

保存手順 6

全データ保存

SDカード内全ての映像データと同じものを保存することができます。

- 1.録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.専用ビューソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
- 3.データ一覧が自動的に表示されます。
- 4.[全データ保存]ボタンをクリックしてください。
すべてのチェックボックスに、☒チェックが入り、「データを保存しますか？」の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



- 5.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
- 6.保存が開始されます。
- 7.[保存を完了しました]と表示されましたら保存完了です。

※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。

※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。

※パソコンのスペック（空き容量）によって、保存するまで時間がかかります。

※パソコンの使用環境によって、HDDの空き容量や他のソフトを実施中にてフリーズしたり、保存に失敗する場合があります。

WITNESSIVは、SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。

（出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。

SDカード1・SDカード2名称：WT4-SD)

Q	どのようなとき、専用SDカードの専用フォーマットが必要ですか？
A	専用SDカードを使用する前に、専用ビューワソフトで専用フォーマットをすることで、お使いいただけます。また、専用SDカードの映像データを消去したい場合も、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットをお使いください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューワソフトの専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品WITNESSIVは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行なってください。

※SD専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存（バックアップ）してください。

使用上のご注意

※SDカードを専用フォーマットする前に、SDカードの状態をご確認ください。SDカードのスイッチ「LOCK」（書き込み禁止）が解除されていることをご確認ください。



※シールの仕様が変更になる場合がございます。

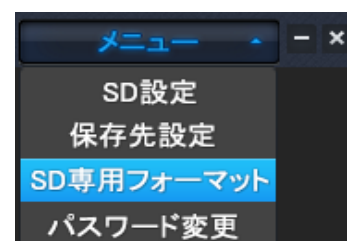
スイッチが上
「LOCK」解除

スイッチが下
「LOCK」

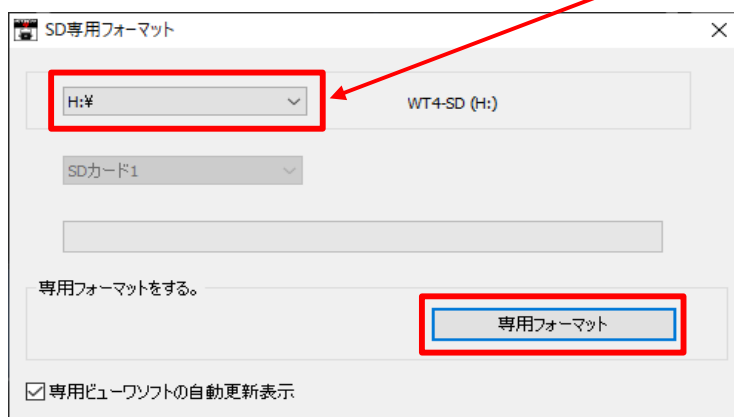
専用フォーマット手順

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. 専用ビューワソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]

プルダウン項目から、[SD専用フォーマット]をクリックしてください。

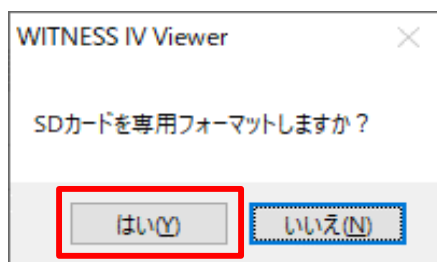


3. 下記画面が表示されます。専用フォーマットを行うリムーバブルディスクを確認後、[専用フォーマット]ボタンをクリックしてください。

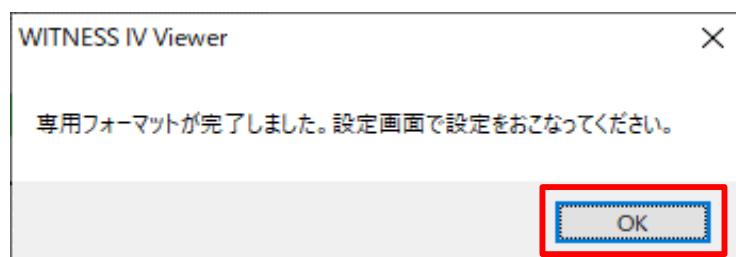


※リムーバブルディスクの選択は不要です。読込先に、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。WT4-SDと表示されているかご確認ください。

4. 「SDカードを専用フォーマットしますか？」のメッセージが表示されます。[はい]をクリックしてください。



5. 専用フォーマットが完了しましたら、下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックして、専用フォーマットを終了させてください。



専用フォーマット後、メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、「SD設定」ボタンをクリックし、SDカードの各種設定・保存を行ってください。また、SDカードの専用フォーマットを行った際、すべての設定値はリセットされます。再度、SDカードの各種設定・保存を行ってください。

使用上のご注意

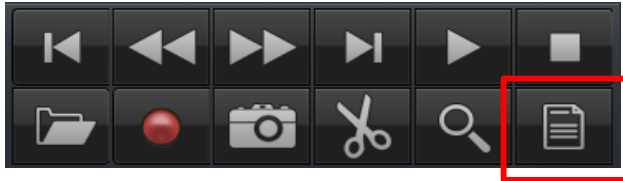
※SDカードのスイッチ「LOCK」（書き込み禁止）が解除されていても、専用フォーマットできない場合は、「管理者アカウント」にて、専用フォーマットを行ってください。

※安全運転レポートは、予告なく仕様変更をすることがありますので、ご了承ください。

録画された映像データから、運行状況を把握し、運行管理をすることができます。
(安全運転レポート印刷可能)

作成手順

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.専用ビューワソフトを立ち上げ、[レポート作成]ボタンをクリックしてください。



- 3.下記のレポート作成画面が表示されます。
リムーバブルディスク選択後、安全運転レポートを作成したい映像データの日時（開始日付・時間～終了日付・時間）を選択してください。
※日付・時間設定は、24時間以内で設定してください。
※録画されている映像データの範囲内で、日付・時間を選択してください。

- 4.会社名・車番・乗務員名（氏名）を入力してください。
※入力は任意ではありません。
- 5.レポート評価項目にアイドリング時間・バックトリガーを入れるかを選択してください。
- 6.印刷するプリンタの選択後、[プレビュー]ボタンをクリックしてください。
印刷プレビューが表示されます。
- 7.再度、[印刷]ボタンをクリックしてください。安全運転レポートが印刷されます。

安全運転レポートイメージ



レポートの印刷を行った日時

WITNESSIV本体が一日記録した映像データを評価基準に基づいて、点数または評価ランクをつけて表示します。

記録された走行データを自動的に計算して、各項目の総合点数を表示します。評価された点数に基づいて、ランク付けした項目の総合ランクを表示します。

一日記録された車速のデータをグラフで表示します。

評価基準・評価基準値

アイドリング時間にはクリアタイムが設定されており、設定を反映した時間で計算しています。

※クリアタイムとは、休憩や渋滞等のアイドリング時間を一定の基準で省いた時間を表します。

※総走行時間とは“WITNESSIV本体ON時に車速パルスの取得されている総時間”を表します。

WITNESSIV評価基準値

評価項目名	単位	評価対象		最高点
		安全運転	エコ運転	
速度超過回数	回/h	○		100
速度超過時間	分/h	○	○	100
急加速回数	回/h	○	○	100
急減速回数	回/h	○	○	100
急ハンドル回数	回/h	○		100
バック速度オーバー回数	回/h	○		100
アイドリング時間	分/h		○	100

【総合運転評価（安全運転・エコ運転）】

範囲	評価	運転内容コメント
90以上	A	安全運転・エコ運転ともに、とても優秀です。
80以上 ～ 90未満	B	ほぼ優秀な運転ができています。今後も、安全運転・エコ運転を続けてください。
60以上 ～ 80未満	C	安全運転・エコ運転を心がけ、さらに上の評価ランクを目指しましょう。
40以上 ～ 60未満	D	安全運転・エコ運転ともに、危険な運転です。運転ルールを守りましょう。
～ 40未満	E	非常に危険な運転操作です！ 今すぐ運転を改善してください。

【安全運転評価】

範囲	評価	運転内容コメント
90以上	A	優秀な安全運転ができています。模範的な運転です！
80以上 ～ 90未満	B	ほぼ優秀な安全運転ができています。今後も安全運転を続けてください。
60以上 ～ 80未満	C	安全運転を心がけ、さらに上の評価ランクを目指しましょう。
40以上 ～ 60未満	D	安全運転が意識されていません。積極的に安全運転を心がけてください。
～ 40未満	E	非常に危険な運転です！ 今すぐ運転を改善してください。

【エコ運転評価】

範囲	評価	運転内容コメント
90以上	A	優秀なエコ運転です。省燃費対策ができています！
80以上 ～ 90未満	B	ほぼ優秀なエコ運転ができています。今後もエコ運転を続けてください。
60以上 ～ 80未満	C	エコ運転を心がけ、さらに上の評価ランクを目指しましょう。
40以上 ～ 60未満	D	エコ運転が意識されていません。積極的にエコ運転を心がけてください。
～ 40未満	E	非常に燃費が悪い運転です！ 今すぐ運転を改善してください。

評価基準一覧

【速度超過回数】

範囲（単位:回/h）	点数	評価	運転内容コメント
6.0以上	0	E	速度オーバーが多く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
3.0以上 ～ 6.0未満	25	D	速度オーバーが多く危険です。 制限速度をしっかりと守ってください。
2.0以上 ～ 3.0未満	70	C	制限速度に気をつけ、速度超過回数を減らしてください。
1.0以上 ～ 2.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。速度超過回数ゼロを目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	速度オーバーがほとんどなく、とても優秀です。

【速度超過時間】

範囲（単位:分/h）	点数	評価	運転内容コメント
30.0以上	0	E	速度オーバー時間が長く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
20.0以上 ～ 30.0未満	25	D	速度オーバー時間が長く危険です。 制限速度をしっかりと守ってください。
10.0以上 ～ 20.0未満	70	C	制限速度に気をつけ、速度超過時間を減らしてください。
1.0以上 ～ 10.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。速度超過時間ゼロを目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	速度オーバーがほとんどなく、とても優秀です。

【急加速回数】

範囲（単位:回/h）	点数	評価	運転内容コメント
4.0以上	0	E	急発進・急加速が多く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
3.0以上 ～ 4.0未満	25	D	急発進・急加速が多く危険です。 スムーズな発進・加速を行ってください。
2.0以上 ～ 3.0未満	70	C	スムーズな発進・加速を心がけ、 急発進・急加速回数を減らしてください。
1.0以上 ～ 2.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。 急発進・急加速回数ゼロを目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	急発進・急加速がほとんどなく、とても優秀です。

【急減速回数】

範囲（単位:回/h）	点数	評価	運転内容コメント
4.0以上	0	E	急減速が多く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
3.0以上 ～ 4.0未満	25	D	急減速が多く危険です。 スムーズな減速を行ってください。
2.0以上 ～ 3.0未満	70	C	スムーズな減速を心がけ、 急減速回数を減らしてください。
1.0以上 ～ 2.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。急減速回数ゼロを目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	急減速がほとんどなく、とても優秀です。

【急ハンドル回数】

範囲（単位:回/h）	点数	評価	運転内容コメント
4.0以上	0	E	急ハンドルが多く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
3.0以上 ～ 4.0未満	25	D	急ハンドルが多く危険です。 スムーズなハンドル操作を行ってください。
2.0以上 ～ 3.0未満	70	C	スムーズなハンドル操作を心がけ、 急ハンドル回数を減らしてください。
1.0以上 ～ 2.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。急ハンドル回数ゼロを 目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	急ハンドルがほとんどなく、とても優秀です。

【バック速度オーバー回数】

範囲（単位:回/h）	点数	評価	運転内容コメント
4.0以上	0	E	バック速度オーバーが多く非常に危険です！ 今すぐ運転を改善してください。
3.0以上 ～ 4.0未満	25	D	バック速度オーバーが多く危険です。 スムーズなバック操作を行ってください。
2.0以上 ～ 3.0未満	70	C	スムーズなバック操作を心がけ、 バック速度オーバー回数を減らしてください。
1.0以上 ～ 2.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。 バック速度オーバー回数ゼロを目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	バック速度オーバーがほとんどなく、 とても優秀です。

【アイドリング時間】

範囲（単位:分/h）	点数	評価	運転内容コメント
30.0以上	0	E	アイドリングが長すぎます。 今すぐ運転を改善してください。
20.0以上 ～ 30.0未満	25	D	アイドリングが長めの傾向があります。 必ずアイドリング・ストップを行ってください。
10.0以上 ～ 20.0未満	70	C	こまめにエンジンを切り、アイドリング時間を 減らしてください。
1.0以上 ～ 10.0未満	85	B	ほぼ問題ありません。さらにアイドリング時間の 削減を目指しましょう。
～ 1.0未満	100	A	アイドリングがほとんどなく、とても優秀です。